



管理職向け

2/18, 2/21, 2/25

@URAYASU舞STUDIO

講師に、株式会社アクシア 林朋子 様をお招きし、管理職の社員を対象にしたハラスメント研修を開催しました。

ハラスメント研修

研修の目的

管理職として、自分がハラスメントを起こさないことはもちろん、組織内での発生を未然防止できる存在になる。

主な研修内容は

管理者として押さえておくべき **セクシャルハラスメント** と **パワーハラスメント** に注目しました。

セクシャルハラスメント

【対価的セクハラ】事柄を拒否するなどにより解雇や降格、減給などの不利益な労働条件を突きつけられたり、嫌がらせを受ける。

【環境型セクハラ】職場における性的な言動により、労働者の就業環境が害される。



上記の中でも意図的なセクハラと、意図も認識も全くない無自覚なセクハラがあります。
今回の研修では無自覚なセクハラに重点を置いた事例を検討し、議論されました。



ハラスメント相談を管理という立場で受けた際の対応について議論される時間となりました。

パワーハラスメント

- ・身体的な攻撃：暴行・傷害
- ・精神的な攻撃：脅迫・名誉棄損・侮辱・ひどい暴言
- ・人間関係からの切り離し：隔離・仲間外し・無視
- ・過大な要求
- ・過少な要求
- ・個の侵害：私的なことに過度に立ち入ること

〈パワーハラスメントの3要素〉

- ①優越的な関係を背景とした言動であって、
- ②業務上必要且つ相当な範囲を超えたものにより、
- ③労働者の就業環境が害されるもの

パワハラ判断方法

ハラスメント3要素に当てはまるかどうか、また行為者の被害認識の有無、行為そのものや手段、表現の仕方が不適切だったかどうかで判断されます。

もし自分が加害者または被害者かも...と感じたら

業務上、必要且つ適性な範囲を超えない指示や注意、指導等は相手が不満を感じたとしてもハラスメントには該当しません。すぐに「ハラスメント」として置き換えるのではなく、ひとりで判断せずに周りの人に相談することも大切です。



実は火災のピークは春!

防災について

どこまで知っていますか?

日本防災協会(JFRA)の審査に合格した物には防災ラベルが貼り付けられています

「防災」は「不燃」とは異なり、あくまでも「燃えにくい」という性能を示す用語です。消防法では『舞台において使用する幕・緞帳および合板は、防災性能のあるものを使う』と義務づけられています。舞台上では燃えやすいものに囲まれており、多くの電気機器からの熱で出火しやすく、いざ火災になるとその被害は予想以上に大きくなります。対象物が防災物品であれば、軽いボヤ程度で済み、大きな火災に発展した場合でも燃え広がるのを5~10分程度遅らせることができます。

その結果、初期消火や避難を行う時間が増え、被害を抑えることに繋がります。

社員用desknet'sにて各種防災証明書が確認できます

【閲覧方法】

desknet's→文書管理→東京営業(左メニューバー)→防災証明書にて閲覧可能



NEW! 安全スローガン ミニステッカー

近日全社員に配布予定!

新しい安全スローガンへの変更に伴い、ステッカーもリニューアル



気をつけよう 慣れた作業に 潜む事故
日本ステージ安全衛生向上委員会

名前と会社名を
選けたところに貼りや~

デスクの引き出しに大切に眠らせたまま...
ではなく!ヘルメットに貼り、
社員一丸となって安全作業を
心掛けていきましょう!

このステッカーは大阪の皆さんが東西全社員分を手作業で作ってくださっています!いつもありがとうございます!!

ヘルメットの交換ができます

普段からの衝撃具合にもよりますが

推奨使用期間は **約3年!**

交換を希望される方は各部署の上長にお声がけください。

※交換は義務ではありませんが大切な命を守るためにヒビ割れ等ないか定期点検をお願いします。